

COBIT5を用いたグローバルITガバナンス強化

国内事例を中心に

デロイト トーマツ リスクサービス株式会社

2014年11月13日

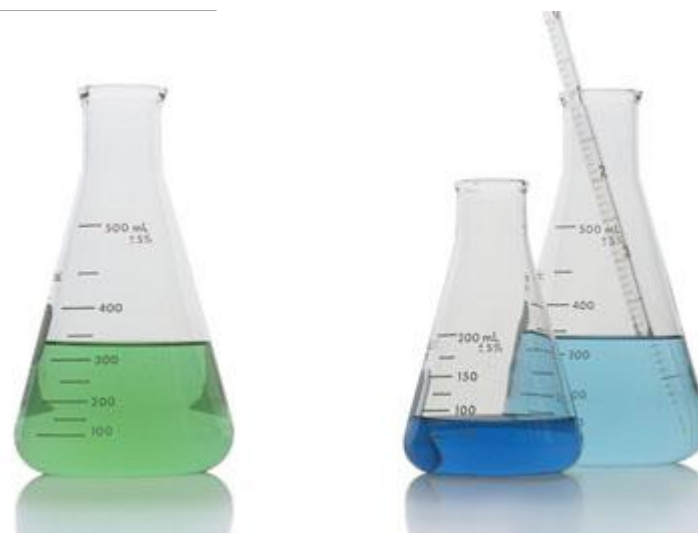


目次

国内企業の事例から学ぶこと

これからの課題 GRC Technologyの活用

なぜデロイトがクライアントから選ばれているのか



国内企業の事例から学ぶこと



今回の事例会社の業種は？



金融機関グループA



金融機関グループB



金融機関グループC



製造業グループD

金融機関が多い
ただし、
検討中も含めると製造業も増えている

なぜグローバルITガバナンスの強化に取り組んでいるのか？



金融機関グループA



金融機関グループB



金融機関グループC



製造業グループD

企業買収を重ねる中で
管理水準のばらつきが生じ、
適切にリスクを把握できていない。

規制当局対応の一環

国際競争力強化の土台づくり

なぜ、COBIT5をベースにしたのか？



金融機関グループA



金融機関グループB



金融機関グループC



製造業グループD

なぜCOBITか

海外でも広く知られている
英語がベースであり海外展開も容易

なぜ“5”か

ガバナンスに踏み込んでいる
最新であり近年の状況を踏まえている

どのような手順で進めるのか？

各社の対応方針



金融機関グループA

まずは国内のガバナンスを強化する。
リスクマネジメント関連の特定プロセスに絞って
フィージビリティを行い、段階的に進める



金融機関グループB

国内外の主要子会社を数社選定し、
全社統制関連分野（EDM、APO）の現状評価をし、
中長期計画を策定し、実行していく



金融機関グループC

COBIT5をベースにグローバル標準を策定し、
海外子会社も含めて一斉に導入をする。
2～3年かけて各社で計画を立案し、実装していく

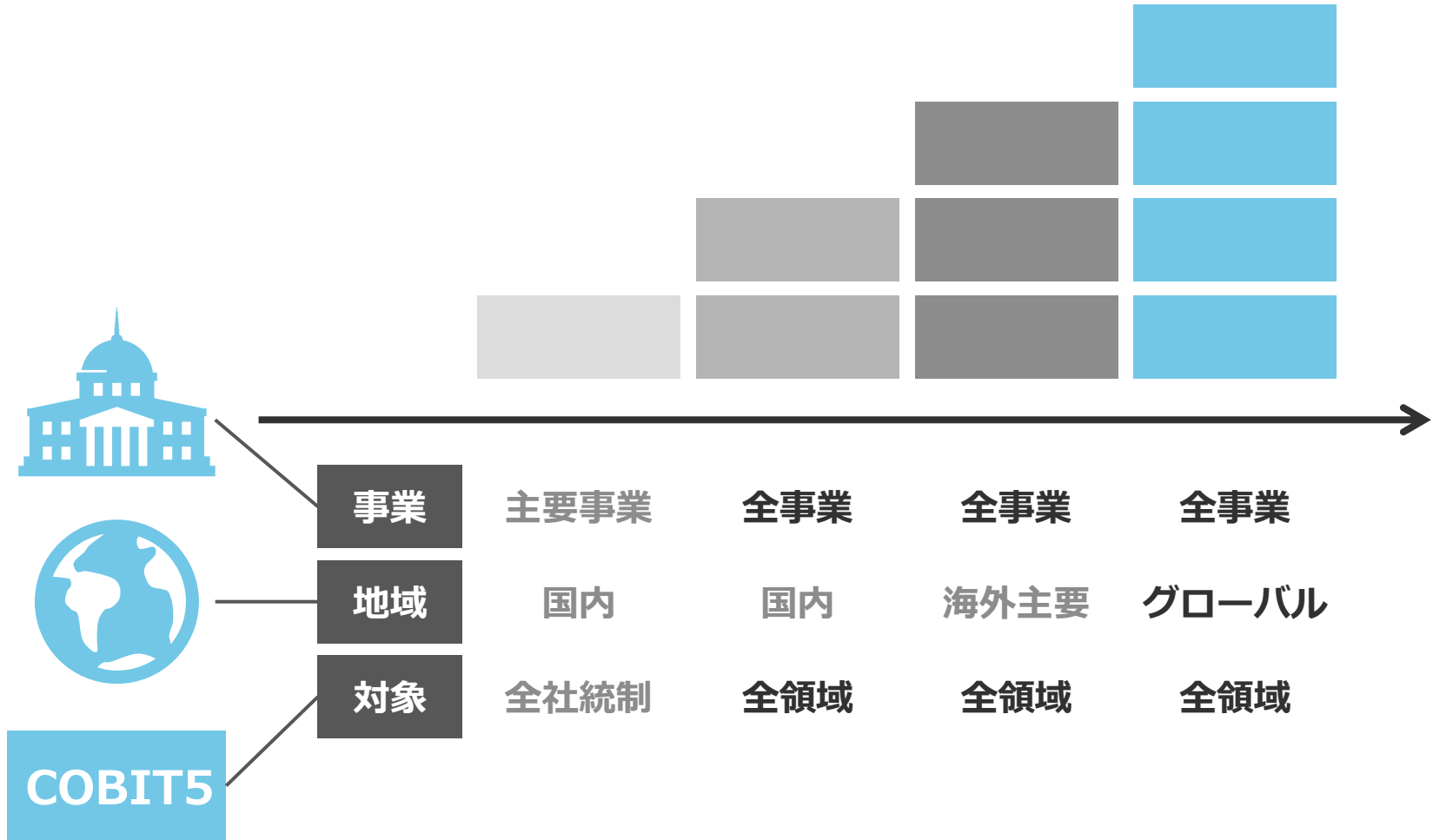


製造業グループD

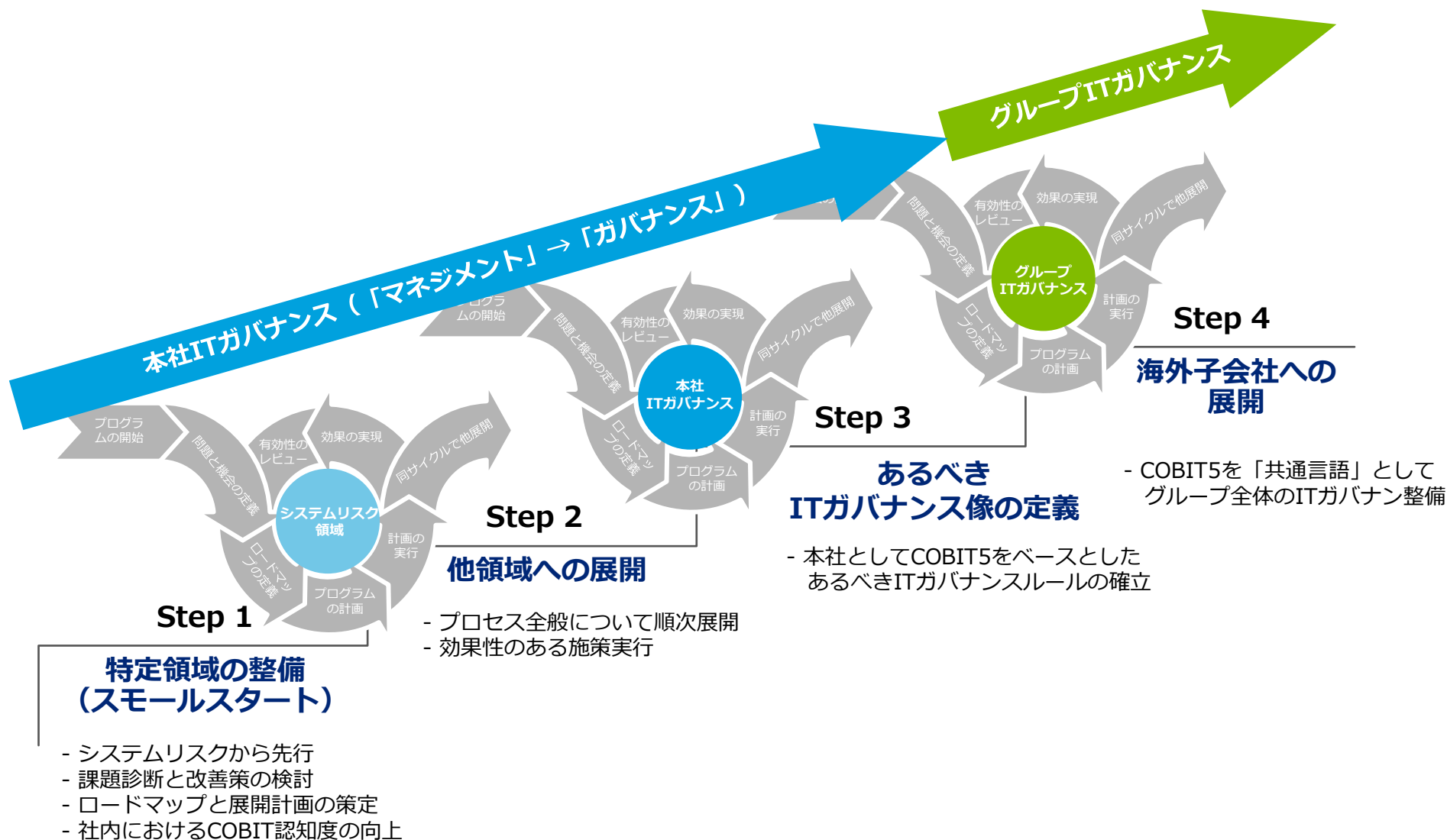
COBIT5のプロセスを標準とし、
国内、海外の順番で文書、実装の
ギャップを改善していく

どのような手順で進めるのか？

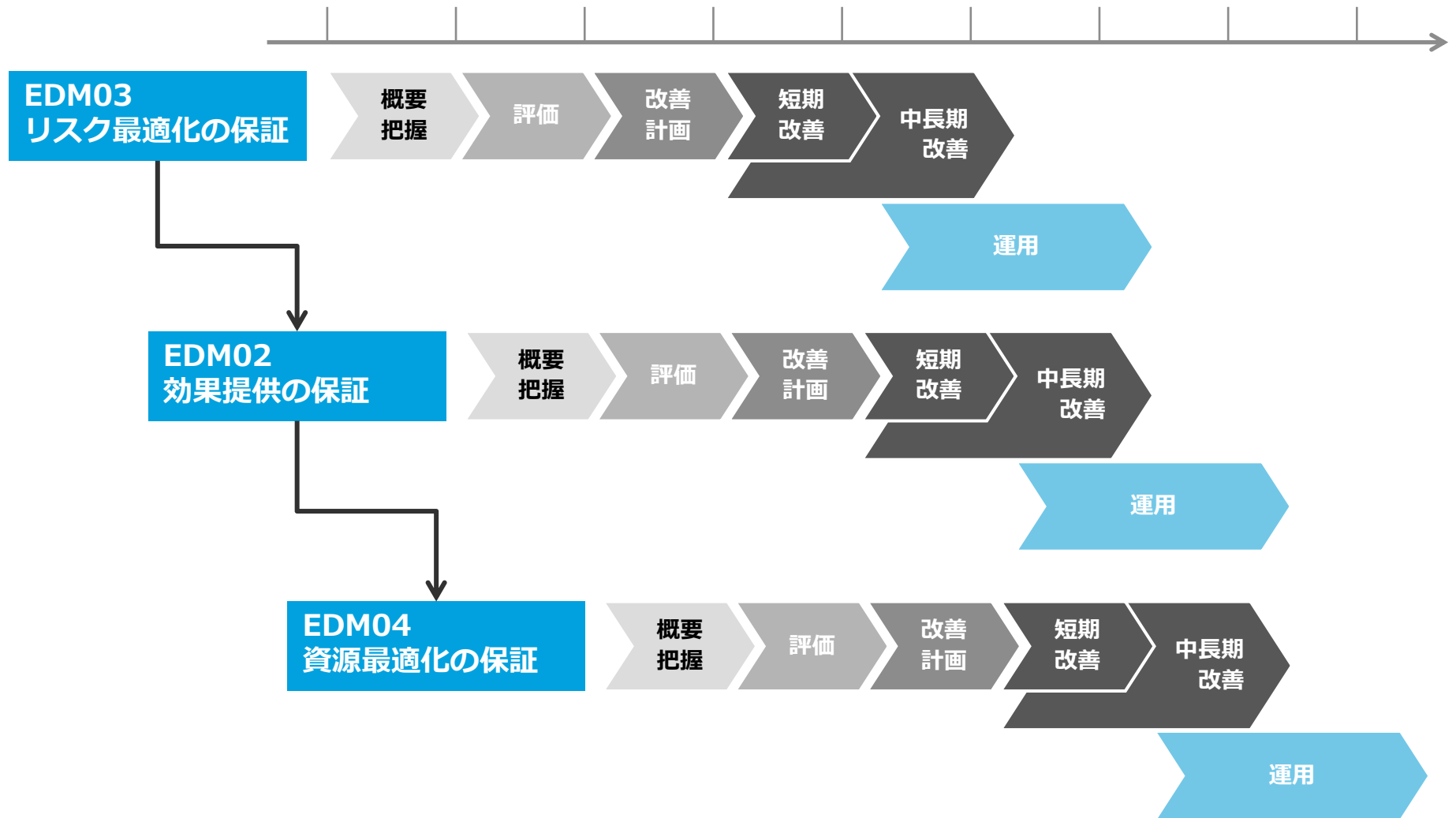
段階的な導入（例）



【参考】ある企業でのITガバナンス確立ロードマップ

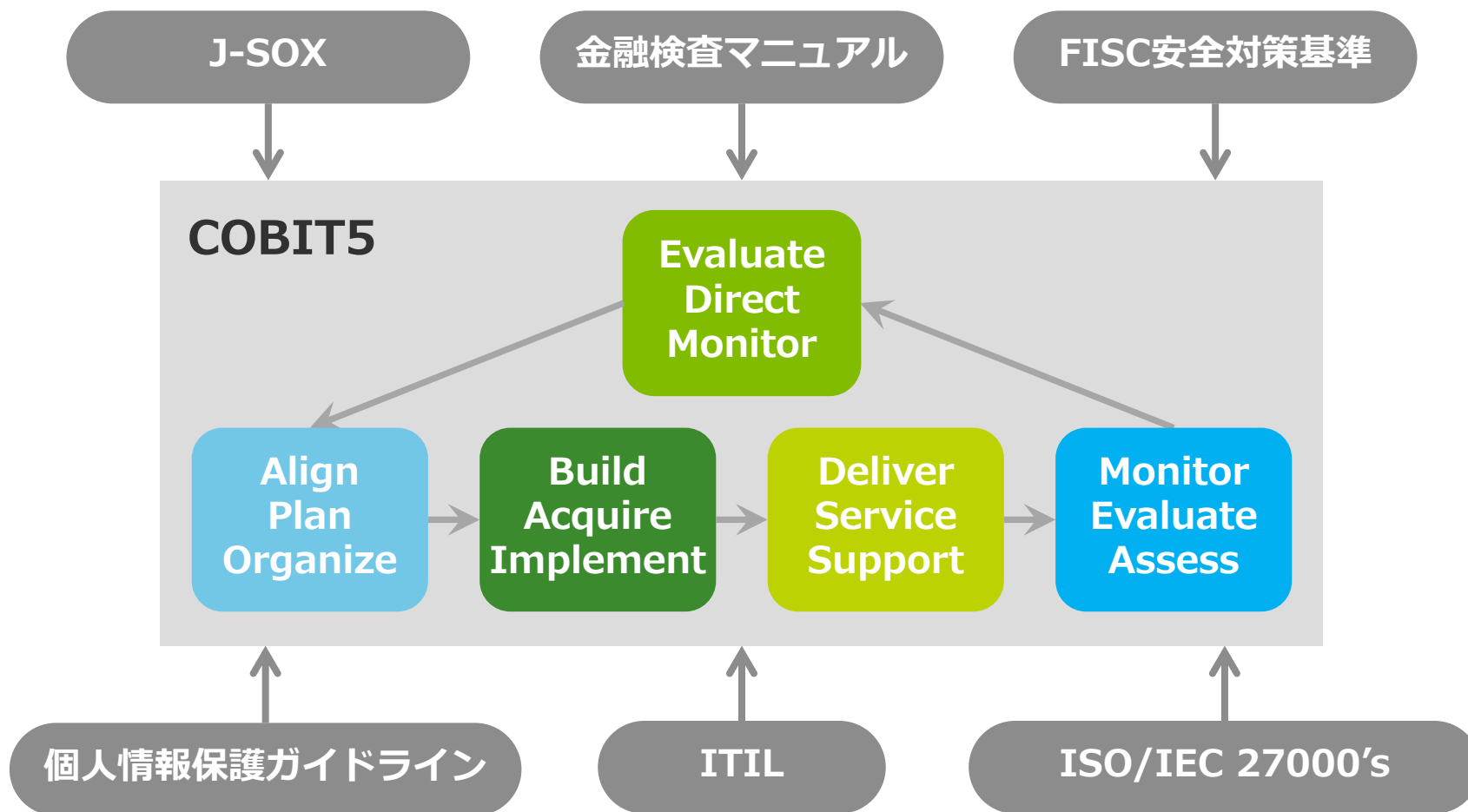


【参考】ある企業でのITガバナンス確立ロードマップ



検討すべき課題は何か？

既存の基準との整合性の確保

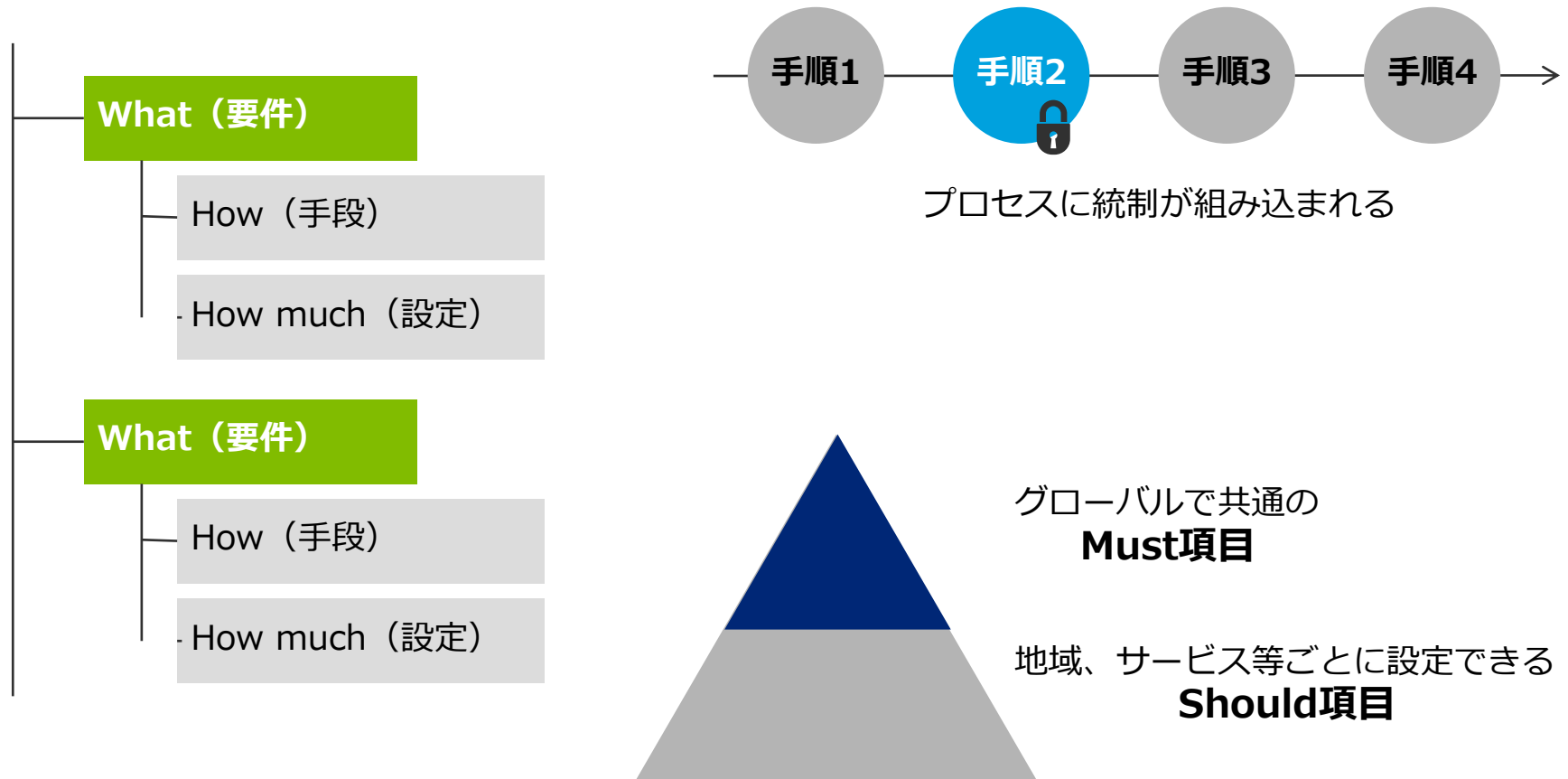


【参考】金融検査マニュアルとCOBIT5の関係（イメージ）

金融検査マニュアル	COBIT5プロセス
I.経営陣によるオペレーショナルリスク管理態勢の整備・確立状況	
1.方針の策定	EDM03
2.内部規程・組織体制の整備	EDM03
3.評価・改善活動	EDM03
II.管理者によるオペレーショナルリスク管理態勢の整備・確立状況	
1.管理者の役割・責任	APO012
2.システムリスク管理部門の役割・責任	APO012
III.個別の問題点	
1.情報セキュリティ管理	DSS05
2.システム企画・開発・運用管理等	BAI01～10 DSS01～03
3.防犯・防災・バックアップ・不正利用防止	DSS04,05
4.外部委託管理	APO10

【参考】グループ共通のルールを作成ポイント

基盤となる共通ルールが必要です

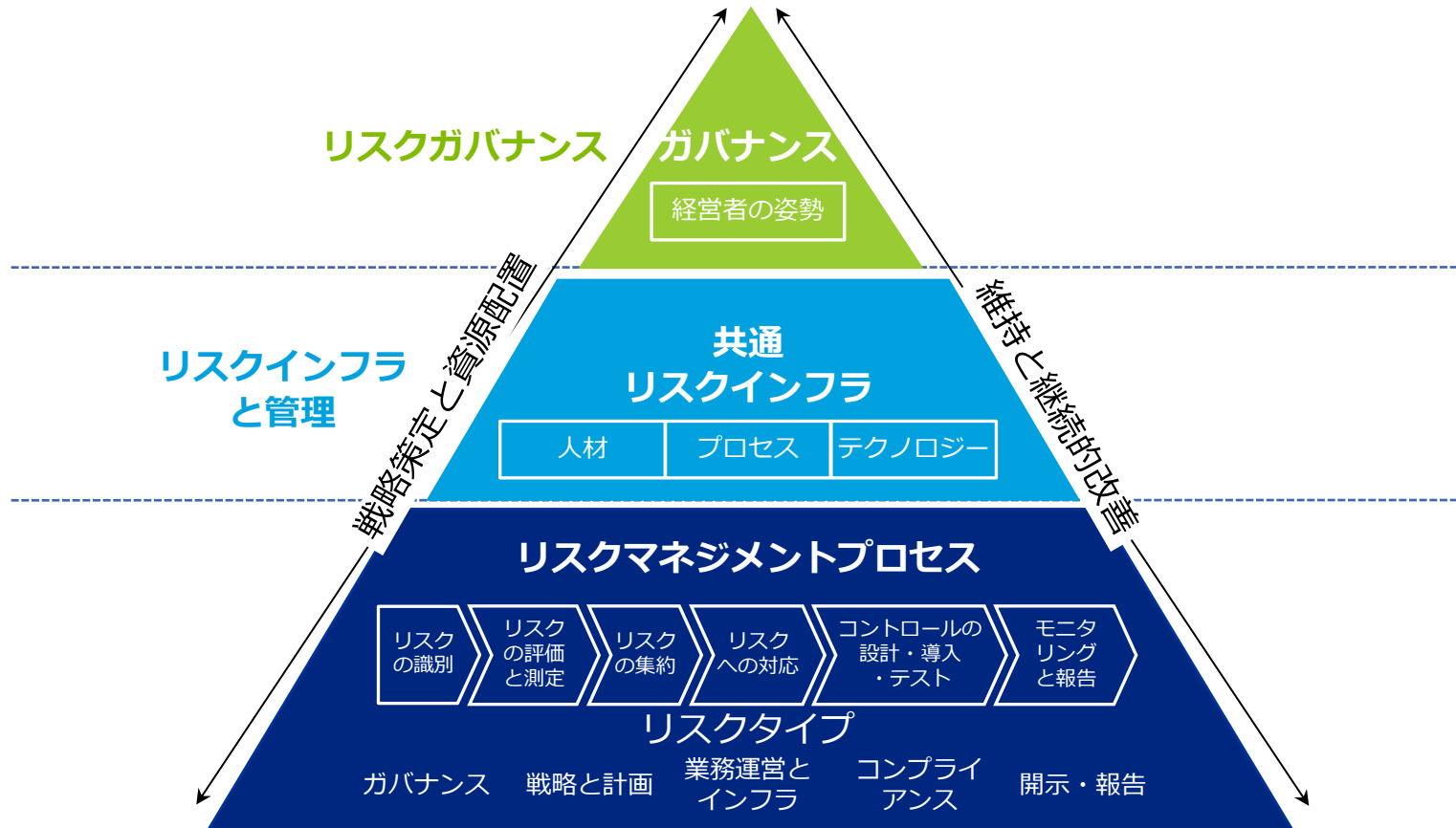


これからの課題

GRC Technologyの活用



あるべきリスク管理態勢（体制）



共通インフラの整備が継続のためのポイントである

GRC Technologyを活用しITインフラを整備する



リスク・コントロール・
コンプライアンス等の
知見をもった人材

標準プロセスを
確実に効率的に実施するための
ITインフラ

共通 リスクインフラ

人材

プロセス

テクノロジー

COBIT5

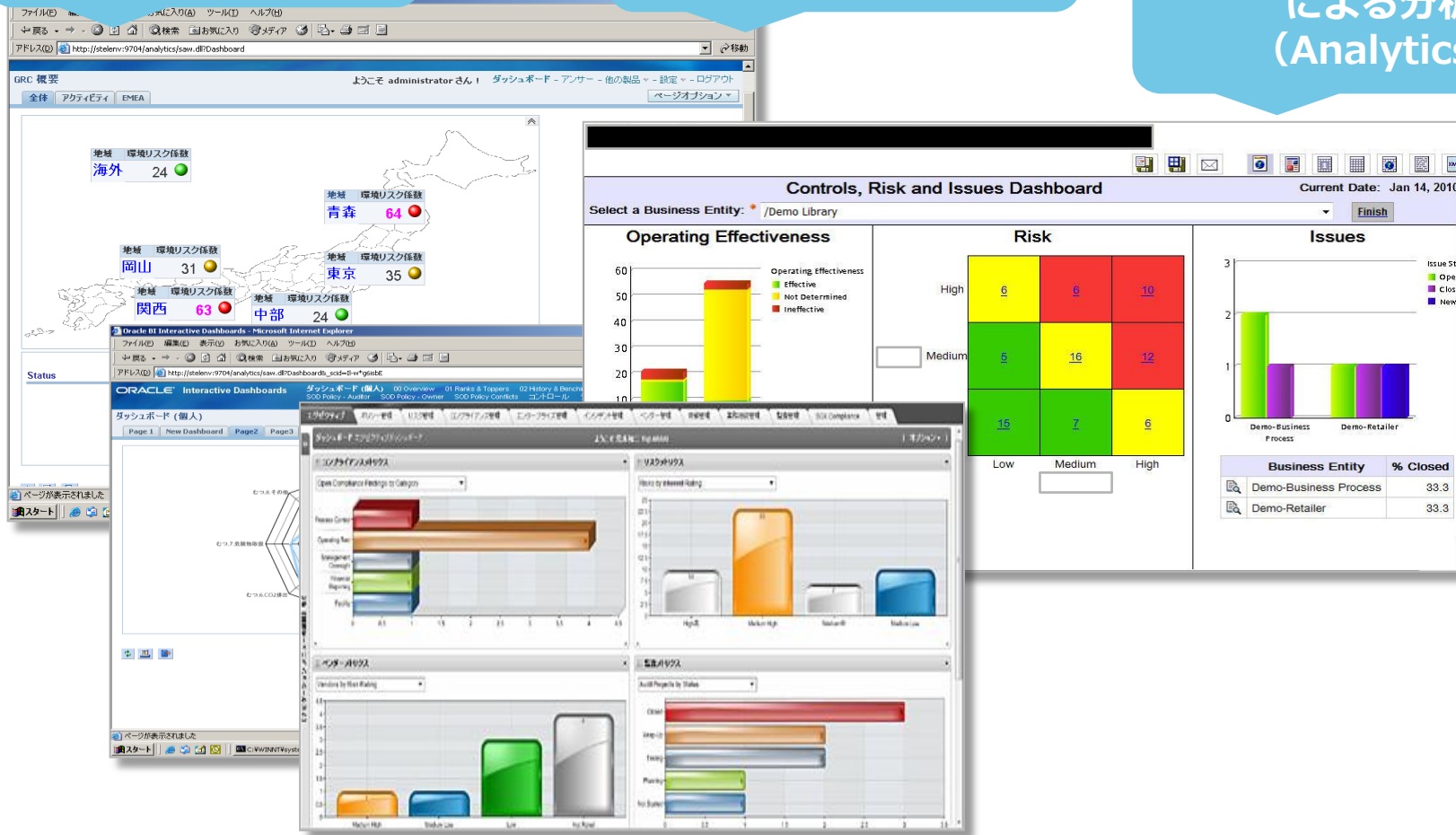
標準プロセス
(Cobit5ベース)

ダッシュボード機能による可視化の実現

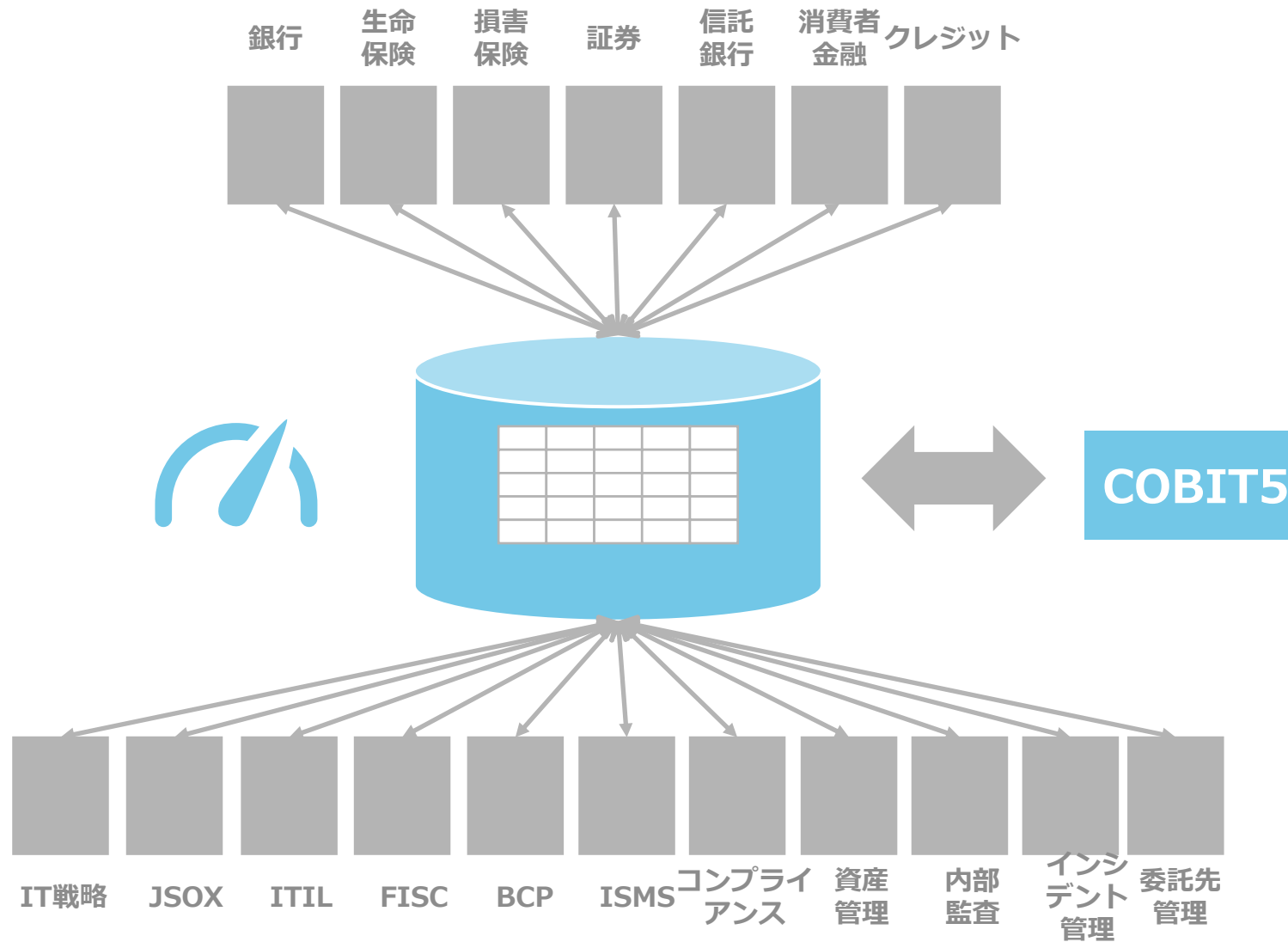
全体感の理解

ドリルダウンによる
詳細データへの
アクセス

様々な切り口
による分析
(Analytics)



シングルレポジトリによりデータの一貫性の担保



なぜデロイトがクライアントから選ばれているのか



デロイトがクライアントに選らばれる5つの理由



人

コンサルティングファームとしての問題解決力



事業

様々なインダストリーの事業への知見



地域

グローバルファームとしてのグローバル対応力

COBIT5

知見

COBITに対する深い知見



技術

GRC Technologyについての深い知見と経験

Answer is

Deloitte.

Deloitte. トーマツ.

トーマツグループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド（英国の法令に基づく保証有限責任会社）のメンバーファームおよびそれらの関係会社（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社および税理士法人トーマツを含む）の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,800名の専門家（公認会計士、税理士、コンサルタントなど）を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）は監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザーサービスをさまざまな業種にわたる上場・非上場クライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000名を超える人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte（デロイト）とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL（または“Deloitte Global”）はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTLおよびそのメンバーファームについての詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited